

雲北陵月報

No. 491

令和8年7月18日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

就職活動に向けて



就職指導部長
樫 英史

高校生活は、知識や技能を身につけるだけでなく、人としての基礎を育む大切な時間です。挨拶をきちんとすること、約束を守ること、仲間と協力すること、失敗から学ぶことなど、その一つひとつが、これから社会で生きていくための大切な力となります。皆さんはすでに、その力をしっかりと身につけていますか？

これから始まる就職活動では、自分と向き合うことが何よりも重要です。「どんな仕事がしたいのか」「どんな社会人になりたいのか」を考える中で、不安や迷いが生まれることもあるでしょう。しかし、その時間こそが皆さんを大きく成長させてくれます。すぐに答えが見つからなくても構いません。一步一步、自分らしい道を切り拓いていってください。

企業は、技能や成績だけでなく、人柄や姿勢を見ています。誰かのために努力できるか、困難に直面したときに逃げずに向き合えるか、そうした日々の積み重ねが評価につながります。今まで学校生活で大切にしてきたことを、そのまま自信として面接の場で伝えてください。特別なことを語るよりも、皆さん自身の言葉で、ありのままの姿を示すことが何よりも大切です。

また、社会に出るということは責任を担うことでもあります。同時にそれは大きな可能性を手にするということでもあります。皆さん一人ひとりが社会の一員として活躍し、多くの人と関わりながら成長していくことを心から期待しています。

これから先、順調なことばかりではないかもしれません。時には壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、その経験は決して無駄にはなりません。困難を乗り越えた先には、必ず

ず新しい自分があります。どうか前向きな気持ちを忘れず、自分を信じて歩み続けてください。

最後に、皆さんの努力が実を結び、それぞれの希望する進路が実現することを心より願っています。皆さんの未来には無限の可能性が広がっています。その第一歩を、自信と誇りを持って踏み出してください。皆さんの健闘を心から祈っています。

女子ソフトテニス部

第55回コーセン杯争奪ハイスクール
ジャパンカップ2026
時 6月25〜28日
於 札幌市円山庭球場

〈シングルス〉

1回戦 今田 心(23^{北陵})

4-12 熊本県代表選手

2回戦 今田 心

2-14 千葉県代表選手

〈ダブルス〉

予選リーグ

① 落合 遥(33^{北陵})・森田早貴(34^{北陵})ペア

1-14 鹿児島県代表ペア

② 落合 遥・森田早貴ペア

4-13 愛知県代表ペア

○大会総評

4月の県予選を勝ち抜いた3名が出場した。上位進出とはならなかったが、インターハイを前に全国大会

で経験を積めたことは大きい。夏の大会で入賞を目指して精進していきたい。応援有難うございました。

(顧問 金森 快)

卓球部

第73回中国高等学校卓球選手権大会
時 6月20〜22日
於 鳥取県民体育館

〈男子団体〉2位

〈男子シングルス〉

ベスト16

福田健人(35^{北陵})、三好蒼空(32^{北陵})

〈男子ダブルス〉

ベスト8

三好蒼空・金丸 陽(32^{北陵})組

福田健人・波多間怜偉(23^{北陵})組

松崎優樹(23^{北陵})・天野遙空(13^{錦台})組

○大会総評

戦術の引き出しの少なさや試合運びの未熟さ等、多くの課題が明確となった。約1か月後に控えるインターハイに向けて課題を克服していきたい。

(顧問 古瀬泰之)



男子バスケットボール部

第70回中国高等学校バスケットボール選手権大会

時 6月19～21日
於 J・COMアリーナ下関

1回戦
本校 75-69 米子松蔭(鳥取)
準々決勝
本校 58-68 英数学館(広島)
ベスト8

○大会総評

初戦の米子松蔭との試合は、序盤から本校の堅守が発揮され、準々決勝へと駒を進めた。

準々決勝で対戦した英数学館は、今年度より外国人留学生が加入し、初戦でシード校を破り、かなり勢いのあるチームであった。前半は、留学生を封じ速い展開から、外角とリバウンドが光り、6点リードで折り返した。勝負の後半は、序盤からミスが目立ち、相手に走られ逆転を許す展開から始まった。最終ピリオドは運動量が落ちる中、必死に食らっていたが最後は力尽き、10点差をつけられ敗退した。例年より結果が出せていただけに、県総体準優勝と今大会ベスト8は勝負の厳しさを痛感させられ、簡単には頂点へはたどり着けないことを学んだ。また、最後まで諦めない姿勢を今大会まで貫けたことは、今後の財産として大きな力となることを期待したい。

我々は全国の舞台で勝利を掴むことを目標にこれからも精進していきたい。県選手権大会に向けての戦い



は既に始まっている。3年生は高校最後の締め括りを、1・2年生はひたむきな心と勤勉さを磨いて、誠実さをもって、チームに貢献してくれることを期待している。

最後になりましたが、校長先生をはじめ本校教職員の先生方、会場まで足を運んで声援いただいた保護者の皆様、OBの皆さんに感謝申しあげます。
(顧問 手島幹人)

陸上競技部

第79回中国高校陸上競技大会

時 6月19～6月21日
於 山口

田中純平(1^年三) 棒高跳び 3m80 16位(自己新)
大野 蓮(3^年三) やり投げ 43m06 23位
高野咲人(13^年三) 砲丸投げ 11m05 22位(自己新)
小松原蒼空(24^年三) 八種競技 3420点 15位(3種目で自己新)

○大会総評

目標にしている県総体では中国大会出場が4名となり、例年以上の成績をあげることができた。全員が中国大会初出場で、1年生の2名は自己ベスト更新し力を発揮することができた。大会二日目は豪雨の中での

競技となり、自己記録更新が難しいコンディションの中だったが、粘りの試技をすることができ、次の大会に向けていい刺激となった。

応援をしていたいただいた保護者、生徒の皆さん本当に有難うございました。今後ともよろしくお願い致します。
(顧問 中澤 悟)

女子ソフトテニス部

国民スポーツ大会鳥根県予選

時 7月4・5日
於 江津市民庭球場

最終選考会の結果、落合遙、森田早貴、今田心、牛尾真緒(21^年三)、末田美雨(13^年三)、水永成実(23^年三)、村尾竹音(13^年三)の7名が選考された。鳥根県の代表として、8月のブロック大会突破を目指して頑張りたい。
(顧問 金森 快)

男子ソフトテニス部

国民スポーツ大会一次予選

時 7月4日
於 石見海浜公園テニスコート

優勝 富岡光輝(33^年三)・三上瑛大(35^年三)
2位 河野穂希(33^年三)・山下柊人(35^年三)
3位 中林冬芽(14^年三)

○大会総評

ダブルス、シングルスとも一次予選をしっかりと勝ち切ることができた。この結果、8月の最終選考会に推薦選手6名を加えた11名が参加することとなった。

(顧問 佐々木雄志)

吹奏楽部

吹奏楽部活動体験会

時 7月5日
於 本校黎明ホール



本年度第2回目となる吹奏楽部の部活動体験を開催した。県内外から50名の中学生に参加いただき、本校吹奏楽部の日ごろの練習を体験していただいた。今回は吹奏楽体験で基礎練習と本年度吹奏楽コンクール課題曲Ⅲの「あつまれ おもちゃのマルチャ！」を使った曲練習を行った。参加いただいた中学生と本校吹奏楽部員にとって有意義な時間となった。

合唱部

合唱部活動体験会

7月4日(土)、中学3年生を対象にした部活動体験会を開催した。当日は30名の参加があり、高校生部員とあわせて50名の合唱団となった。発声を行った後、NHK中学校の課題曲「花へ。」の合唱を行い、発声のポイントや曲作りなどについて一緒に練習した。中学生の皆さんの演奏にひたむきに向かう姿やパワーあふれる声などに感動する中、高校生も充実した時間を過ごすことができた。そして最後に高校生が合唱曲を2曲披露して会を閉じた。この体験会を通して、高校生部員自身が多くの刺激を受け、よい学びの場となった。

学校運営評議員会開催

本年度第1回学校運営評議員会が開催された。

時 6月26日
於 本校会議室

学校からは、昨年度の反省と今年度の重点目標及び取り組みについて報告をさせていただいた。

本年度より新委員として日下眞二様、石原稔功様をお迎えして新しいメンバーでの開催となった。委員



の皆様方からは、学校でも企業でも建学の精神・企業理念が非常に大切であり、それがどれくらい生徒や教職員に落とし込まれているのか？また毎年、夏祭りでの吹奏楽部の

素晴らしい演奏を楽しみにしている。といった貴重な意見や感想をいただいた。

様々なご意見を参考にして、今後の教育活動に取り組んでいきたい。今年度の委員は次の皆様です。

○委員長（再任） 森山 茂 様

（森山邦商店代表取締役社長）

○副委員長（新任） 日下 眞二 様

（ワルツ商事代表取締役）

○委員（再任） 法正 良一 様

（川跡地区自治協会会長）

○委員（再任） 青戸 貞夫 様

（鳶巣地区自治協会会長）

○委員（新任） 石原 稔功 様

（本校高校PTA会長）

令和8年度 出雲北陸高等学校 学校開放美術講座

時 7月4日

於 本校美術棟

本校美術棟にて、学校開放美術講座が行われた。素描とデザインの講座に県内13校の中学校から16名の参加があった。

素描は木炭デッサンを、デザインは果物を使った平面構成を行った。参加者は、初めての素材や技法にもかかわらず、積極的に約2時間の実技に取り組んだ。それぞれに上達が伺える実りある講習となった。

次年度も開催を予定している。多くの方に受講していただければうれしく思います。（美術科 石倉 正）



素描講座の様子

吹奏楽部

ゆめタウン出雲アンバーサリィコンサート

時 5月24日

於 ゆめタウン出雲

つわぶき祭

時 6月13日

於 島根県立大学出雲キャンパス
標記の2つのイベントに出演させて頂いた。

ゆめタウンでは、11時と12時30分の2回公演をさせていただき、多くのお客様から温かい拍手をいただくことができた。

つわぶき祭りではオープニングとして出演させていただき、学生を始め、多くの関係者の方々の前で演奏をさせていただき、大きな拍手をいただくことができた。

今後も「地域に愛されるバンド」を目指し日々精進していきたい。



インターアクトクラブ

中海・宍道湖 一斉清掃

時 6月14日

於 宍道湖周辺（斐川・平田）

中海と宍道湖が平成17年に「ラムサール条約」に登録されて以来、境港・米子・安来・松江・出雲の5市で、6月の「環境月間」にあわせて毎年実施されている。

出雲市では、宍道湖畔の斐川会場（出雲空港周辺）と平田会場（湖遊館周辺）に分かれて清掃活動をした。インターアクトクラブは斐川会場に8名、平田会場に生徒12名が参加した。

集合時間に現地へ行くと、出雲市役所職員や企業、近隣の家庭からも参加があり、両会場とも約300人が集結。宍道湖と斐伊川の合流点から、湖岸沿いにゴミ袋と火バサミを持ち、1時間ほどの清掃作業をした。ペットボトルやスナック菓子の袋、発砲スチロールなど多くのゴミを拾うことができた。



出雲科学館 理科学習(中学3年)

「科学技術と人間」というテーマで、中学3年生が受講した。1時間目はサイエンスホールにおいて、最先端技術の説明が行われた。その中で出雲村田製作所のロボットが紹介され、作成過程では何回も試行錯誤を繰り返されている苦労話も紹介された。2・3時間目は実験室に移動し、パソコンを使いプログラミングをして、ロボットを操作した。生徒達はグループで役割分担をして実験に取り組み、与えられた課題をクリアするため、プログラミングに取り組んでいた。

スズノミ 甲子園島根県大会

全国大会出場決定!



7月4日
於 キララビーチ
ゴミ拾いをスポーツ化した、拾ったゴミの内容と重量で決まるポイントで競う競技である。本校からイン

ターアクトクラブの生徒を中心に、3チーム9名がエントリーした。大会の認知度が上がり、過去最多の28チームが出場した中で、錦織禎(12年)、藤原娃愛(12年)、宮本美咲(12年)のチームが優勝し、全国大会への出場を決めた。また、西尾心々菜(34年)、本間梨花(34年)、佐野結菜(34年)のチームも健闘し、第4位であった。



第31回出雲招待中学校バスケットボール交歓大会 兼 出雲北陵高等学校校杯バスケットボール大会

7月4日・5日

於 平田体育館、斐川第一体育館、本校体育館

男子はBLAZE BULLSが初優勝
女子は出雲北陵が16年ぶり8回目の優勝を果たす

今年で31回目となる本校主催の表記大会を開催した。男子は12チーム(県外2チーム)、女子は9チーム(県外1チーム)の参加があり、県総体の前哨戦として、2日間、熱い試合が繰り返された。

男子の部

〈予選リーグ〉

出雲北陵	58	1	島根
島根	80	57	39
斐川西	54	79	57
出雲二	71	68	71
BANDITS	48	70	68
井口	82	60	73
YBUCKS	27	73	60
BLAZE BULLS	76	39	73
白岳	38	50	55
TWO UP	57	55	50
島大附属	56	50	55
西郷	45	75	50
〈決勝トーナメント〉			
出雲北陵	56	39	71
BLAZE BULLS	61	45	39
井口	58	53	出雲北陵

女子の部

〈予選リーグ〉

湖東	46	1	L'unique
L'unique	67	45	49
昭和中	33	76	36
出雲北陵	86	36	41
松江一	58	41	77
TWO UP	35	77	41
斐川西	64	78	49
六道	57	97	77
YAHHEYS	77	49	77
〈決勝リーグ〉			
出雲北陵	79	38	79
L'unique	43	71	43
YAHHEYS	54	63	43
出雲北陵	58	53	出雲北陵

男子の部

〈予選リーグ〉

山下ちゆら(出雲北陵)	17	3	4
金築 颯夏(出雲北陵)	15	3	4
加藤 虹(YAHHEYS)	9	11	12
山本 董(YAHHEYS)	11	12	10
内田 帆真(L'unique)	12	10	8
出雲北陵(16年ぶり8回目)	58	53	出雲北陵



女子の部



優勝チーム (出雲北陵中学校)



男子の部



優勝チーム (BLAZE BULLS)

2026年 夏のオープンキャンパス

日程 8/12(水)

オープニングイベント (映像配信) (8:40~8:45 5分)

本校の生徒会執行部によるオープニングイベントを映像配信します。※申し込み不要。授業体験を受ける部屋で視聴していただきます。

中学校 (入学説明会等)

行 事 名	実施時間	対 象	定 員	持ち物	事前申込
入学説明会	①8:50 ②11:10 ③13:00	小学4~6年と保護者の方			不要
個別入学相談 (随時)	9:00~14:00	小学4~6年と保護者の方			不要
入試問題に挑戦! (理・社・国)	11:10~12:30	小学6年生	20名		必要
土器を作ろう	13:00~14:20	小学5・6年生	20名		必要

高等学校授業体験 (8:45~9:25 40分)

教 科 名	テ ー マ	内 容
国 語	漢字の成り立ちと漢文入門	漢文の基礎を分かりやすく指導します。
数 学	数学Aにチャレンジ	数学A (集合分野) の基礎的内容を勉強します。
英 語	高校英文法に挑戦	3つの完了形 (現在・過去・未来) に取り組み基本事項を確認します。
理科 (化学)	高校化学を体験しよう	金属の反応性の違いを通して、高校化学の内容に触れます。
社会 (地理・歴史)	社会科って面白い!	故郷の地理・歴史を通して社会科の楽しさを再確認します。
家庭科 (保育)	幼児と遊べる折り紙制作	折り紙を使った作品制作を行います。
保健体育 (保健)	運動と健康	運動するとなぜ健康になるのかを勉強します。
看 護	看護って何だろう	看護や看護ケアについて学びます (簡単な実習も含む)。
商 業	商業簿記に触れてみよう	アニメで挑戦! お金の仕分けゲーム。

受験講座 (9:40~10:30 50分)

教 科 名	テ ー マ	内 容
国 語	過去問にチャレンジ!	本校の過去の入試問題を使って、傾向と対策を詳しく解説します。
数 学		
英 語		
理 科		
社 会		

その他の行事

行 事 名	実施時間	場 所	備 考
第26回いずもアートコンクール	10:50~15:30	美術棟	別途、実施要項あり。
入学相談	9:00~15:00	図書室	事前申込は必要ありません。

中学校 (部活動体験・見学)

部 活 動 名	実施時間	場 所	備 考
中学男子バスケットボール部	8:50~10:40	体育館	
中学女子バスケットボール部		体育館	
中学野球部		第1グラウンド	
中高テニス部	10:50~12:30	テニスコート	
中高ダンス同好会		中高棟2番教室(中高棟ホール)	
中高陸上競技部		第二グラウンド	見学のみのみ

部活動体験 (見学) (10:50~12:30) *部活動についての上記実施時間は予定です。実施時間の変更がある場合もあります。

部 活 動 名	実施時間	場 所	備 考
男子バスケットボール	10:50~12:30	体育館	
女子バスケットボール		体育館	
中高テニス部 (男女)		テニスコート	
男子ソフトテニス部		ソフトテニスコート	
女子ソフトテニス部		ソフトテニスコート	
中高陸上競技部		第2グラウンド	見学のみのみ
中高ダンス同好会		中高棟2番教室(中高棟ホール)	
サッカー部		第1グラウンド	
野球部		第1グラウンド	
吹奏楽部		黎明ホール	
合唱部		音楽室	
写真部		216R	

*筆記用具、上履き、下足用袋、飲み物を持参してください。

*当日はランチルームの大サービス! (営業時間10:30~13:30 カレーライス ¥100、ラーメン ¥100、うどん ¥100)。

作品と研究

全国大会への意気込み

男子ソフトテニス部

主将 三上 瑛大(3・5歳)

男子ソフトテニス部は、8月4日から7日にかけて京都府福知山市で行われるインターハイの団体戦と個人戦に3ペアが出場します。団体戦は12大会ぶり4回目の出場となります。3年生にとっては何度も何度も目の前で逃してきた夢の舞台であり、最後の集大成となる大会になります。26名の部員全員がコートに立つことはできませんが、それぞれの立場でしっかりと準備し、悔いの残らないように上を目指して全力で戦います。そして自分たちが今まで取り組んできたことの成果を十二分に発揮し、個人戦では上位進出、団体戦ではベスト4以上を目標に、見ている人や応援してくれているみんなの心を動かせるようなプレーをしたいと思っています。北陵らしさ全開の泥臭いテニスで相手に向かっていき、一つでも多く試合をして、全力でソフトテニスという競技を楽しみたいと思います。学校、地域の方を含め、たくさんの方に支援をしていただいていることへの感謝を忘れず、大会に挑みたいと思います。応援よろしくお願いします。

女子ソフトテニス部

主将 落合 遥(3・3歳)

女子ソフトテニス部は、チーム目標「インターハイ団体ベスト4」を掲げ、日々の練習に取り組んでいます。昨年の宇部インターハイでは、私自身、個人戦・団体戦ともに悔しい結果となりました。自分の力を十分に発揮することができず、試合が終わった後には大きな悔しさが残りました。その経験があったからこそ「今年は必ず昨年の結果を超えたい」「悔いの残らない大会にしたい」という思いを強く

く持ち、この一年間練習に励んできました。その気持ちは私だけでなく、チーム全員の目標にもつながっていると思います。

試合では、一人ひとりが自分の役割を果たし、苦しい場面でも最後まで諦めずに戦い抜きたいです。また、どんな状況でも前向きな声を掛け合い、一本一本を強気で勝負し、全員で流れをつくりながら戦っていきます。また、これまで支えてくださった先生方や保護者の方々へ、全員の想いが伝わるように一試合、一試合に全力で挑みます。目標である団体戦ベスト4を達成し、最高のインターハイにします。

卓球部

主将 福田 健人(3・5歳)

私達卓球部は、8月13日から17日にかけて大阪府で開催されるインターハイに出場します。出場種目は、団体戦、シングルス1名、ダブルス2組です。

団体戦の目標は、ベスト8以上に入賞することです。昨年はインターハイ予選で敗退し、先輩方が築いてきた連覇を私達の代で途切らせてしまおうという、屈辱と悔しさを味わいました。新チームになり大会で良いスタートが切れたことで、気持ちを切り替えて徐々に士気を高めていくことができました。これまでの道のりは決して平坦ではありませんでした。しかし、様々なことを乗り越える中で、チームの団結力はより高まったと感じています。今年は、ノーシードからの出場になります。悔いの残らないよう、チーム一丸となって全力で向かっていきます。

個人戦は、各県の予選を勝ち抜いた選手だけが出場するので、初戦から厳しい試合になると思います。しかし、苦しい展開になっても、諦めず粘り強いプレーをして、一つでも上位に進出できるよう頑張ります。インターハイに出場できるのも私達だけの力ではありません。毎日、練習場に来て指導してくださる顧問の先生、大会や遠征の費用を支援してくださっている後援会のの方々、何より私達の一番の支えである両親

のお陰だと思っています。私達の活動を支えてくださるすべての方々への感謝の気持ちを胸に、団体戦、個人戦ともに頑張ります。ご声援よろしく願っています。

美術部

加納 珠莉(3・6歳)

美術部は7月27日から30日まで秋田県横手市で開催される全国高等学校総合文化祭美術・工芸部門に3年の定守と加納が参加します。

全国から選ばれた絵画や彫刻、デザインなど400点以上の作品が展示されると聞いて、今からワクワクしています。同じ高校生がどんな構図や色使い、技法で作品を作っているのかを身近で見られるのは、写真や画面越しでは決して得られない貴重な経験だと思います。会場を歩きながら、気になった作品はじっくり足を止めて、その工夫や魅力をできるだけたくさん吸収していきたいです。交流会では、秋田県の伝統工芸である秋田杉の組子細工を体験します。普段木にじっくり触れる機会はありませんので、いつもとは違う視点で「ものづくり」を感じてみたいです。会場で見えて、感じて学んだことを、これからの制作や美術大学進学に向けた勉強にしっかりとつなげていきたいです。

写真部

部長 水口 笑奈(3・3歳)

私は日々「作品づくり」と「楽しく活動できる雰囲気」を特に大切にしています。写真はただ撮るだけではなく、光や構図、その一枚に込める物語まで考えながらシャッターを切ります。同じ場所でも、時間帯や光の入り方、撮る角度を変えただけで印象は大きく変わります。そうした表現の面白さを、仲間と作品を見せ合い意見を交わしながら学べることに、更にプロの方々から講評をいただけることは、とても貴重な経験です。写真部に入って本当に良かったと感じています。

また、部長として部員と積極的にコミュニ

ケーションを取り、みんなが楽しく活動できる雰囲気づくりを心掛けています。大変だと感じることもあります。が、苦手だった「人をまとめること」にも少しずつ自信が持てるようになりました。まだまだ未熟ですが、仲間を支えられながら、自分自身も成長していることを実感しています。

今年は4人の部員が全国大会へ出場します。私は全国高等学校総合文化祭へ、そして3人の仲間はチームとして写真甲子園本戦大会に挑みます。全国大会には、高い技術と豊かな感性を持つ高校生が集まり、そのような舞台で多くの作品や人と出合い、新しい視点や表現方法に触れることは、とても楽しみです。この貴重な機会を通して自分自身を更に成長させ、これまで積み重ねてきた努力の成果を発揮できるようベストを尽くしたいと思っています。

ここまで支えてくださった先生方や仲間達、そして家族への感謝の気持ちを忘れず、学校代表、島根県代表、中国ブロック代表としての誇りを胸に全力で挑戦していきます。そして、全国大会で得た学びや経験を先輩達へ受け継ぎ、出雲北陵高校写真部の更なる成長につなげられるよう、私達らしく頑張ります。

出雲地区高校美術講習会・コンクール優秀作品

今月1枚

大野 優姫(2・5歳)

